

＜全校生徒対象＞SSH 記念講演会「秋山仁の SSH 始球式」

2014 年 5 月 17 日(土)に、本校が SSH に指定されたことを記念し、東京理科大学理数教育研究センター長である秋山仁教授による講演が行われました。野球部マネージャーのウグイス嬢の紹介の後、本校硬式野球部のキャッチャー、バッターに向け、実際に投球いただき、SSH 部部長 大西先生が「ストライク！」の判定をされました。まさに、秋山先生から本校に SSH のボールが渡された瞬間でした。その後のご講演では、SSH の意義、科学、数学が身近さや奥深さ、人生の指針等のお話をいただきました。生徒、保護者、教職員計約 1200 人が拝聴し、「数学に対する見方が変わった」「時間が短く感じた」「励まされた」等の意見が寄せられました。

生徒感想文 1 年 S.H

今回の講演会で、数学はとても身近で奥深いものだということを知りました。私は今まで、身近にある数学は「数」だけだと思っていました。しかし、CD の傷、医療技術、石鹸の泡、…。実際には様々な所に数学が隠れている。それに、中学校で学んだ三平方の定理なども応用することができる。聞いていくにつれ、数学に引き込まれ、だんだん数学に対する親近感が生まれてきました。そのようなお話の中で、私が最も印象に残ったのは「CD」についてです。一見すると全く関係が無さそうな数学と CD。けれども冷静に考えると、CD のデータが計算されて作られていることには納得できます。計算された CD に傷をつける。普通に考えると、音の質が悪くなることが想像されます。しかし、少しの傷では数学によって音楽に何ら問題はなくなっていました。これには本当に驚きました。また、十二面体や十六面体を直方体に変形することができる、ということにも驚きました。さらに、石鹸の泡をよく見ると実は十二面体になっているなんて、今まで想像したことがありませんでした。今度、機会があればよく観察してみたいです。数学以外のこともたくさんお話がありました。「自分の人生は自分の意志と努力で築き上げる。」「自分は何をしたいのかを考え、ひたすら努力する。そうすれば必ず道は開ける。」「今日から自分の人生を変える。」これらの言葉が忘れられません。よく考えると当たり前のことかもしれませんが、その当たり前のことを続けていくことが最も難しいと思います。それをはっきりと告げた先生は、きっと先生自身が経験なさったからこそ言えるのだと感じました。私は、目の前の難しい問題、物事から逃げようとしてしまうことがあります。そんな時は、秋山先生の言葉を思い出してできるだけ立ち向かっていこうと思います。夢に近づけるよう頑張りたいです。

